

津山中央病院広報誌「スマイル」

Smile

2025
新春号



特集

周産期センターが
新しくなりました

津山中央病院の役割

私ども「津山中央病院」は地域の中核病院として「高度医療の提供・急性期疾患の対応・充実した救急医療の提供」を果たす役割を担っております。この3つの使命は、地域の皆様のご要望とも言うことができ、当院はこれを実現すべく、日夜、研鑽に励んでおります。

また「地域医療支援病院」の認定を受け、緊急対応や高度な精密検査が必要な患者さんなど、地域の医療機関からの紹介があれば迅速に対応できる体制を整えています。

当院の近隣エリアには、回復期リハビリテーション病院やかかりつけ医として日常的な診療や健康管理を行う診療所など、それぞれの特長を活かした医療機関があります。地域内での機能分化を進め、適切な場所で患者さんに最良の医療を受けていただけるよう、地域の医療機関との密な連携に取り組んでいます。



津山中央病院

緊急対応や高度な精密検査・治療が必要な場合は当院へ



かかりつけ医

病状が安定したらかかりつけ医へ

かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常の健康管理を行う近所のお医者さんです。あなたに気になる症状があればすぐに相談でき、万が一、専門的な検査・治療が必要となれば、当院を紹介してもらうことができます。

新年明けましておめでとーございませう



津山中央病院
病院長

林 同輔

新年明けましておめでとーございます。

当院は昭和29年7月に津山市二階町で開院しましたが、昨年で70周年を迎えました。平成11年12月に現在の川崎の地に新築移転してからも四半世紀が過ぎ、3次救命救急センターを併設して「お断りしない救急」と「最先端の医療の提供」をスローガンに日々の診療を行っております。

大きな嵐を引き起こした新型コロナウイルス感染症も現在5類相当となっており、皆様方の生活も以前の日常が取り戻せているのではないかと考えられます。しかし、感染弱者が集まる病院としては引き続き感染対策に努める必要があります。新規型感染症の出現も警戒しながら第二種感染症指定医療機関として県北の感染症診療を継続していく所存です。

岡山県北は少子高齢化が進み、当院を取り巻く医療環境も厳しさを増していますが、今年も当院の理念である「地域の皆さんに優しく寄り添います」を実現し、「県北医療の最後の砦」としての役割を果たすべく努力してまいりますので、引き続き皆様方のご支援を宜しくお願いいたします。



梶 俊策
 津山中央病院
 周産期センター センター長
 小児科主任部長

当院の周産期センターは地域周産期母子医療センターとして、この地域で安心して妊娠・出産・育児ができるよう努めています。産科・NICUスタッフでカンファレンスを行い密に情報を共有するとともに、地域の産科施設と連携をとり、24時間体制で妊婦および新生児の相談と転院を受け入れています。また近隣の産科施設に発生した緊急のハイリスク出産の知らせには、駆けつけて立ち合い、必要な処置を行っています。さらに高次の医療が必要な場合は県南の総合周産期母子医療センターと連携し転院搬送を行っています。

この度、周産期センターをリニューアルし、より充実した設備となりました。最近では小児リハビリスタッフによる新生児期からの発達に関するケアが充実し、一酸化窒素療法やネーザルハイフローなど新たな呼吸管理も始めています。今後もこの地域で安心して出産いただける周産期医療を提供してまいりたいと思っております。



周産期センターが 新しくなりました

2024年6月の病棟改修で、
 本館3階にある産婦人科・小児科病棟を
 リニューアルしました。

岡山県北部唯一の地域周産期母子医療センターとして、切迫早産・妊娠高血圧症候群・双胎妊娠(双子)といった妊娠合併症や、何らかの基礎疾患を有する妊娠に対応しています。分娩後異常出血など必要時は救命科とも連携して治療にあたります。もちろん持病がなく正常に経過している妊婦さんの健診や分娩管理も行っています。

妊娠・出産は最後まで何が起るかわかりません。いかなる状況にも対応できるよう、周産期にかかわるスタッフ一丸となり日々精進しています。



佐藤 麻子
 津山中央病院
 周産期センター副センター長
 産婦人科部長

2024年6月本館改修工事に伴い、周産期センターの拡張工事を行い、NICU機能3床・GCU機能3床をそれぞれ4床に増床し、感染症対応の部屋を設置しました。病室も温かみのある雰囲気になりリニューアルし、より快適な環境で出産していただけます。



周産期母子医療センターは母体の救命救急やハイリスク妊娠への対応、高度な新生児医療などを行う施設です。基幹となる総合周産期母子医療センターとそれを支える地域周産期母子医療センターの二種類があります。
 当院は地域周産期母子医療センターの指定を岡山県から受けています。

周産期母子医療センターとは

小さな命を守るために、

設備だけでなく、人材育成も

NICUは、新生児集中治療室のことで、早く生まれた赤ちゃんや小さく生まれた赤ちゃんが治療を受けています。当院には、NCPR（新生児蘇生法）のインストラクターが4名おり、定期的に病棟スタッフへの教育を行っています。NICUで働くスタッフがNCPR研修を受けることで、緊急時に冷静かつ迅速な処置ができ、赤ちゃんの命を守る確率が高まります。

どんな状況においても、赤ちゃんの安全を守るために、常に新しい知識と技術を取り入れ、地域周産期母子医療センターとしての体制を整えています。



PICK UP!

NCPR 新生児蘇生法

NCPR（新生児蘇生法）は、生まれたばかりの赤ちゃんの呼吸や心拍が弱い場合に行う救命処置です。適切な方法で迅速に対応することは、赤ちゃんの命を守るために重要です。

産後ケア事業をご存じですか？

出産後もないお母さんの心と体はとても疲れます。そんな状態での赤ちゃんのケアは負担が大きくなり、何と大変です。

また、近年は核家族が増えて、出産前後の心と体が不安定な時期に近隣の身近な人の協力が十分に得られず、不安や孤立感を抱く方も少なくありません。そして、育児不安やうつ状態が、子どもの虐待の要因になることも指摘されています。産後の育児を家庭のみに任せるのではなく、地域の様々な支援を受けながら子育てをしていくことが、孤立を防ぎ、虐待予防の観点からも大切といわれています。

そんな中で、安心して育児に取り組みめるように、当院では産後ケア事業を実施しています。

まず専門的な設備で心身をゆとりとりと休め、助産師による専門的な

アドバイスで、赤ちゃんの成長を楽しむことができるようにサポート

します。

つらい時に誰かに助けってもらうことは恥ずかしいことはありません。出産直後の申し込みに困ったときは産後ケアを是非ご利用ください。ご利用には、申し込みが必要ですので、まずはお住いの自治体の保健センターにご相談ください。

近隣の保健センター

- ・津山市こども保健部
健康増進課保健指導係
Tn: 0868-32-2069
- ・美作市保健福祉部
子ども政策課
Tn: 0868-75-3911
- ・真庭市子育て支援課
こども家庭センター
Tn: 0867-42-1816
- ・鏡野市子育て支援課
子育て支援係
Tn: 0868-54-2991
- ・美咲町健康推進課
Tn: 0868-66-1195
- ・久米南町保健福祉課
Tn: 086-728-4411

よくあるご質問 コーナー

Q 正常分娩でも出産でもですか？

A はい。特にリスクがない妊婦さんも多く出産しています。妊婦経過の中で切迫早産、妊婦高血圧症、胎児発育などリスクが見つかった場合でも、産後まで継続して医療・ケアを提供できるのが当院の強みです。

Q 妊娠確定診断は受け入れてもらえますか。

A またそのまますができますか。

A はい、できます。妊婦の診断から妊婦健診、出産、産後1ヶ月健診まで、本人と家族の希望を聞きながら対応します。

Q 母乳栄養や乳房トラブルを相談したいです。

A はい。お電話をいただければ助産師が対応します。

Q 里帰り分娩を希望していますか。

A 平日の14時から16時までの産婦人科外来に電話でお問い合わせください。

お祝い膳



出産後のお母さまへ特別なお祝い膳をご用意しています。当院のお祝い膳は、食の都大阪で長年ステーキハウスを営んでいるシャロンが作るステーキが好評です。





私たち津山慈風会は、
地域の皆さんにやさしく寄り添います

一般財団法人津山慈風会

津山中央病院

〒708-0841 津山市川崎1756
TEL.0868-21-8111 (代表) FAX.0868-21-8200
<https://tch.or.jp/>



津山中央病院
ホームページ



津山中央病院
YouTube
チャンネル



津山中央病院
インスタグラム



津山中央病院
Facebook